

「北九州SDGs登録制度」申請書

北九州市長 様

所在地 北九州市若松区大字安瀬62-3

団体名 松田建設工業株式会社

代表者 代表取締役社長 松田 正市

「北九州SDGs登録制度」について、関係書類を添付の上、下記のとおり申請します。

団体概要

(ふりがな)	まつだけんせつこうぎょうかぶしがいしゃ	
団体名	松田建設工業株式会社	
(ふりがな)	まつだ しょういち	
代表者氏名	松田 正市	
所在地	市内事業所	北九州市若松区 大字安瀬62-3
	主たる事業所	同 上
事業概要	橋梁架設工事、橋梁補修工事等の鋼構造物事業を主力としています。建設部門は北九州市様をはじめとした公共工事の元請け工事、各橋梁メーカーから受注した下請け工事を西日本一円の現場で施工しています。また製造部門では、主力取引先の協力会社として橋梁、鉄骨の製作加工を行っています。	
企業・NPO法人等の別	企業	
業種（企業のみ）	建設業	
従業員数（企業のみ）	21～50人	
ホームページの有無	有	
ホームページURL	http://www.matsudakk.co.jp	

連絡先

担当部署	総務部
担当者	高林 繁生
電話番号	093-771-1410
メールアドレス	takabayashi@matsudakk.co.jp

提出書類

- ・様式1：SDGs達成に向けた取組状況（チェックシート）
- ・様式2：SDGs達成に向けた宣言書
- ・様式3：地域課題への取組み

SDGs達成に向けた取組状況 (チェックシート)

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット			具体的な取組内容	最も関連性のあるゴール・ターゲット	
				7.2	9.4	13.3		ゴール	指標
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (CO2削減)					日々の節電、例えばこまめに事務所内の照明を消し、昼間は照明使用率を半分にするこ とや冷暖房の温度管理 (冷房28℃、暖房23℃) によるクールビズ、ウォームビズを実施し て環境負荷への低減を組織全体で行っている。 また、従業員の各家庭においても太陽光発電の採用を推奨するなど、ゼロカーボンを意 識した取組を行っている。	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール13	環境 (1) ②
2	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R (リデュース、リユース、リサイクル) を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	環境 (廃棄物削減)					製造部門で発生する鉄屑くずなどは全量がリサイクルに回されている。 工率部門では発生量は少ないものの、善後等の金属類のリサイクル実施や木材、木くず 等の分別を実施するなど、従業員の環境に対する意識も高く、廃棄物の管理や処理を適切 に行っている。	ゴール	指標
				9.4	12.3、12.5	13.3		ゴール12	環境 (2) ②
3	事業に伴う調達 (原材料、部品、資材、サービス、使用する設備 や事務用品等) について、環境負荷や人権などに配慮している。 (サプライチェーン管理)	環境・社会 (サプライチェーン管理)					元請け工事の場合、部品、資材等は市内事業者から調達するなど、構築を架設する企業 の社会的な責任として地元調達方針を明確化している。 また製造部門、工事部門ともにアーク溶接の溶接ヒュームによる健康障害のおそれから 法令で特定化学物質に位置づけられたことに留意して、作業を進めるように指導してい る。職場環境の改善と特定健康診断による健康管理に十分な配慮を実施している。	ゴール	指標
				10.2	12.2	13.3		ゴール12	経済 (2) ②
4	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品 質の向上や新たな技術の開発等に取り組んでいる。	経済・社会 (技術向上)					数年継続している豪雨災害による構築の流失などがあり、弊社も緊急工事には迅速な対 応が求められているため、即応体制を取れるようにしている。仮橋の架設や足場の組立も短 期間で完了する製品を採用するなど、技術的なノウハウを蓄積している。	ゴール	指標
				8.2	9.5	12.5		ゴール11	社会 (2) ア
5	環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につ ながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	環境・経済 ・社会 (商品開発)					数年継続している豪雨災害による構築の流失などがあり、弊社も緊急工事には迅速な対 応が求められているため、即応体制を取れるようにしている。仮橋の架設や足場の組立も短 期間で完了する製品を採用するなど、技術的なノウハウを蓄積している。	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール11	社会 (2) ア
6	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、 良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	経済・社会 (労働環境整備)					コロナ禍によりリモートでの会議に対応するためZoomによる会議が今や定着化し、移動 を伴わずに会議が可能となった。 また、毎週水曜日の一斉業務ミーティングの定着もあり、少しずつではあるが、柔軟な勤務が可 能となっている。年間休日は現在110日であるが、来年度は完全週休二日制を導入予定 で、年間休日120日となる見込みであり、労働環境の整備に配慮している。	ゴール	指標
				3.4	5.5	8.8		ゴール3	社会 (4) ①
7	年齢、性別、国籍、障害の有無等による不当な差別を防ぐ体制 の整備等により、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境 の構築に取り組んでいる。	社会 (ジェンダー平等)					従業員の人事評価について、客観的で公平な制度を実現する為、2019年4月より新評価制度を導入 した。業績評価目標に対する達成度、貢献度による評価となっており、次第に定着化が図られてい る。 また障害者雇用や外国人材の積極雇用を実施しており、働きやすい環境を整備している。女性の管 理職割合について、全管理職中現在3.3%を令和6年度中に20%とする目標を設定している。圧倒的に 男性社員が多く、計画的に管理職登用を実施する。	ゴール	指標
				5.5	8.5、8.8	10.2		ゴール5	社会 (1) ③
8	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハ ラスメントなど、あらゆるハラスメント行為を防止するための 体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでい る。	社会 (ハラスメント防止)				弊社就業規則にはセクハラ・パワハラ防止事項等に性的な言動による不利益、不快 感、就業環境の悪化を招くことの禁止、また妊娠、出産、育児、介護などに関する制度、 措置利用についての職場環境を悪化させる言動の禁止、優越的な地位を背景とした精神的、 身体的な苦痛を与えるような言動の禁止を謳うとともに、従業員に対しては常に報告 がされる体制を整備している。	ゴール	指標	
				5.1、5.4	8.8		5.1	社会 (2) ウ	
9	疾病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業 員の健康維持に取り組んでいる。	社会 (健康経営)				現場に於いては、日々の朝礼時にKY (危険予知活動)、安全帯着訓練等を実施し定例的 に安全衛生教育を実施して危険作業の洗い出しと災害防止を徹底して行い労働災害の発生 防止に努めている。 毎年4月には健康診断を実施し、実施結果の産業医による面談指導を年3回行っている。 内訳は健康診断結果を受けた産業医の面談・指導、メンタルヘルス、禁煙指導である。	ゴール3	社会 (3) ①	
				3.4	8.8		3.4	社会 (3) ウ	
10	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供する と共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップ の受入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。	経済・社会 (人材育成)					資格取得に関しては手当を支給して従業員の意欲向上に資する制度を取り入れている。 技能者に関しては建設キャリアアップのレベル1からレベル4までのなかで1段階ずつ向上 するよう資格取得を助けている。技術者に関してはOPDのユニット取得を年間20ユニット と義務付けてスキルアップに繋がるよう講座の紹介や現状の取得状況を配償して意欲の向 上に繋げている。	ゴール	指標
				4.4	8.2、8.6	17.17		ゴール8	社会 (4) ③
11	反社会的勢力の排除、汚職や贈賄・不正競争行為の防止な ど、法令を遵守する体制を整備している。	社会 (不正防止)	北九州市入札参加資格有資格者名簿 への登録				ゴール	指標	
				16.1、16.3、16.5			ゴール16	社会 (2) ウ	
12	自社のSDGsの取組みをマネジメントする担当者や担当部署 を設置し、CSV (※) などを適切に推進すると共に、災害時 等の事業の継続や事業承継など持続可能な事業経営に取り組 んでいる。	経済・社会 (持続可能性)	北九州市自治会活動応援事業者表彰				ゴール	指標	
				11.b	12.6	13.1	ゴール11	社会 (2) ②	

※ CSV (Creating Shared Value: 共通価値の創造)
企業が社会課題に取り組み、社会に対して価値を創造することでビジネス (経済的な価値) を創出すること。

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言日 令和 3年 12月 10日

団体名 松田建設工業株式会社

私たちは、SDGs の内容を理解し、SDGs の達成に向けた方針及び取組を以下のとおり宣言します。

◆ SDGs 達成に向けた取組方針等

弊社は、2030年のSDGs達成年に向け「次世代の幸せのため、持続可能な目標を追求し社会に貢献する」ことを目指しており、社員が取組を理解し率先して目標にチャレンジするよう取り組んで参ります。

◆ SDGs 達成に向けた重点的な取組

達成を目指す分野に「○」		SDGs 達成に向けた重点的な取組	指標 (KPI) ・ 目標値 ※目標値は、いずれかの目標年で設定してください。		最も関連性のある「北九州市SDGs 未来都市計画」の指標や取組 ※どちらか一方のみの記載で構いません。
経済	○	災害に強く、安全・安心の街づくりの為、工事部門の全社員を有資格者にする。	指標 (KPI)	資格取得率	指標
社会	○		目標値		経済 (2) ①
環境			2030年 (その他の場合) ()年	2021年70.8% ↓ 2030年100%	具体的な取組 社会 (2) ア
経済		喫煙習慣からの脱却	指標 (KPI)	喫煙者をゼロに	指標
社会	○		目標値		社会 (3) ①
環境			2030年 (その他の場合) ()年	2021年15人 ↓ 2030年0人	具体的な取組
経済		本社使用電力を再生可能エネルギーによる電力へ転換	指標 (KPI)	再生可能エネルギー 電力導入量	指標
社会			目標値		環境 (1) ①
環境	○		2030年 (その他の場合) ()年	2021年0% ↓ 2030年50%	具体的な取組

記載について

- ・ 「SDGs 達成に向けた重点的な取組」は、3つまでご記入できます。
- ・ 必ず全ての分野（経済・社会・環境）の達成を宣言してください。
（1つの取組みで3つの分野を達成しても、複数の取組みで3つの分野を達成しても構いません）
- ・ 指標（KPI）は、原則として数値目標を記載してください。

地域課題への取組み

団 体 名 松田建設工業株式会社

私たちは、地域課題の解決を通じてSDGsを達成するため、北九州市の取組みに参加しています（今後、参加します）。

取組名	具体的な取組内容
11 ながら見守り宣言企業	弊社は「ながら見守り」宣言企業として社員全員で子どもや女性、地域の安全・安心を守るため「見守り活動」を実施しています。
99 その他（市と連携した取組み）	弊社は月1回、まち美化活動に参加して清掃活動を行っており、本年3月には北九州市自治会活動応援事業者として表彰されました。

記載について

- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」の中から、現在取り組んでいるもの（今後取り組むもの）を少なくとも一つ選択し、具体的な取組内容を記載して下さい。
- ・これから取組みを始める場合は、選択した取り組みの担当部署に連絡をし、所定の手続きを済ませた上で本書を提出して下さい。
- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」以外で、貴団体が自主的に行っている取組みについても、併せて記載いただいても構いません。